

最近の建物火災には必ずと言って良いほど死傷者が出ていますが、昔はこれ程死傷者は出ていなかったように思います。何か今の建築工法にその原因があるのでしょうか。

湿式工法とは

(在来工法とも呼び、昔ながらの注文住宅が多く石膏又は土壁を塗る事が最大の特徴)

石膏または土壁を塗る事を最大の特徴としている工法です。したがってその養成期間の為工期は若干長くかかりますが、火災に対しては初期燃焼時間を延長させ有毒ガス等の発生は皆無で避難にも余裕が生まれます。

昔の建築工法は、ほとんどがこの湿式工法で建てられていましたので、現在の火災のように昼間に発生した火災で死者が出ると言ったことは少なかった訳です。

また、日本の気候は大変湿気が多いのですが、石膏または土壁はこの湿気を吸ったり出したり呼吸をし、夏は涼しく、冬は暖かい自然の浄化作用をしています。押し入れに入れて置いたお布団が汗をかいてびっしょり濡れてしまった。など聞きますが、石膏または土壁ではそういう事はまったくありません。

新しい工法も取り入れていかねばなりませんが、日本の気候に適し、皆様の健康を守り火災にも断然強い石膏または土壁を見直して下さい。



左官の壁は燃えない
不燃材料です。

漆喰は建築基準法上でも不燃材料として認められております。

江戸時代の火災の多い地域では、防火の為に漆喰が塗られており、お城や土蔵などを火災から守ってくれました。

また火災に甚大な被害をもたらすのは、住宅建材の燃焼により発生するガス煙による窒息などと言われております。

建材などの燃焼による煙は大変危険と言われております。左官の漆喰は火災時の有毒ガスなどの発生が無く、火災による逃げ遅れなどの被害を食い止めるのに役立ちます。



塗り壁で守ろう
あなたの命と財産

不燃 耐火力

内装材燃焼試験

	建 材	燃焼状況	燃焼時間
1	左官の塗り壁 漆喰	煙なし	60秒
2	左官の塗り壁 けいそうモダンコート	煙なし	60秒
3	ベニヤ板 化粧合板	15秒位で煙が出る	25秒
4	米松 化粧板	5秒位で燃える	10秒
5	防煙ビニールクロス	5秒位で煙が出る	10秒
6	ビニールクロス	10秒位で煙が出る	20秒
7	左官の塗り壁 けいそうモダンコート内装	煙なし	60秒

- ・下地はプラスターボード(全部同一条件)
- ・ガスバーナー
- ・立会人 (株)川島左官 社長、 せいさ工材(株)富士営業所所長、
四国化成工業(株) 二級建築士、 主婦 2名

